学校番号	416

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰ Ⅱで学んだことを生かし、デッサン・スケッチ・デザイン・工芸等の作品制作に取り組みます。
・自然や自分自身、世の中のことに関心を持ち、感じたことや考えたことを作品に反映させることをめざすとともに、今まで学んだことを生かして自分なりの作品過程を考え取り組んでいく。
・自分のよさを発見し、美しさを感じ取る完成を高め、表現する楽しさや作品の完成の喜びを味わいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々な表現形式による絵画表現に関する学習を通して表現と鑑賞の能力を高め、活用できている。
【思考力、判断力、表現力等】
自らの主題を生成し、それをもとに構想を練り、表現するに適した画材や表現方法について思考・選択・実践ができている。また、制作や鑑賞を通して、見方や感じ方を深めることができている。
【学びに向かう力、人間性等】
自ら進んで知識や技術を身に付け、表現しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・様々な技法､材料や道具など専門的知識・技能について積極的に学び、それらを制作や鑑賞、その他の活動に応用できている。 ・主題を効果的に表現するための方法を計画し、その表現方法の特性を生かして、材料や用具等を適切に活用し表現している。	・これまでの学習やテーマをもとに、自らの主題を生成し、それをもとに構想を練り、表現するに適した画材や表現方法について思考・選択・実践ができている。 ・制作や鑑賞を通して、見方や感じ方を深めることができている。	・制作や鑑賞を通して、自ら進んで知識や技術を身に付け、表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 オリエンテーション 学習内容について	a:美術作品のよさや美しさを感じ取り理解を深めている。 b:造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できている。 c:学習内容に関心を持ち学習の意欲を高めている。	学習活動の様子 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート
	絵文字のデザイン	【デザイン】 レタリング 漢字の合うイメージを表現	a:表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。 b:自らテーマを決め、構想を練っている。 c:文字から連想したイメージを表現することについて理解し、主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返りシート	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返りシート	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返りシート
2学期	ダンボールスニーカー	【彫刻】 主にダンボールを使用しスニーカーを制作	a:ダンボールや画用紙の使い方について理解し、表現方法を工夫している。 b:スニーカーの構造を理解し、表現の構想を練っている。 c:関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 アイディアスケッチ 作品	制作の様子 アイディアスケッチ 作品	制作の様子 アイディアスケッチ 作品
	絵本	【デザイン】 絵本の制作	a:イメージを表現するために必要な表現方法を身に付け、表現できている。 b:自らテーマを決め、柔軟な発想を持ち、構想を練っている。 c:何を作るかから考え、課題の内容に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返りシート	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返りシート	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返りシート

3学期	点描画	【絵画】 アボリジナルアート オーストラリア先住民族発祥のアートを体験	a:画材に応じた表現方法を工夫している。 b:点描の表現について理解し、デザインの構想を練っている。 c:自らテーマを決め、構想を練っている。	制作の様子 アイディアスケッチ 練習の作品 本番の作品	制作の様子 アイディアスケッチ 練習の作品 本番の作品	制作の様子 アイディアスケッチ 練習の作品 本番の作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度